

はじめに

奈良県では、これまで「地域の自立を図り、くらしやすい奈良を創る」ことを県政の目指すべき姿とし、知恵と工夫を凝らして、直面する県政諸課題に全力で取り組んできました。

その成果が、障害者雇用率や奈良公園バスターミナルの開業など、数値や形となって現れてきましたが、まだまだ力を入れなければならない課題も数多くあります。戦後大阪のベッドタウンとして発展してきた本県には、「高齢者の増加」「奈良で育った子ども達の働く場の確保」など、成熟したベッドタウンにおける諸課題も数多く存在しています。

そういった諸課題に対応し、「もっと良くなる奈良」を目指すには、これまで着実に積み上げてきた土台を元手に、更に知恵と工夫を積み重ねることが必要と考え、令和2年2月に「奈良県政の目標と道筋」について、「奈良新『都』づくり戦略2020」をとりまとめました。ここに盛り込んだ各政策を推進していくため、今般「奈良新『都』づくり戦略 政策推進プラン」を作成しました。今後も、奈良県をもっと良くするため、本プランに基づき、重要な諸施策を着実に実行していきます。

令和2年2月

奈良県知事 荒井 正吾



1日こども知事